

静岡市インフラ分野のDX推進プランについて（概要）

1 インフラ分野のDXとは

- 取組の背景
- 建設現場の課題
 - ・将来の人手不足
 - ・災害対策
 - ・インフラ老朽化の進展等
- 社会経済情勢の変化
 - ・技術革新の進展
 - ・新型コロナウイルス感染症に対応する「非接触・リモート化」の働き方
 - ・行政のデジタル化を強力に推進

★以上を踏まえ

【インフラ分野のDX】

◎社会経済状況の激しい変化に対応し、インフラ分野においてもデータとデジタル技術を活用して、市民のニーズを基に社会資本や公共サービスを変革するとともに、組織、業務、建設業や国土交通省の文化・風土や働き方を変革し、インフラへの国民理解を促進するとともに、安全・安心で豊かな生活の実現を目指す。

2 本市の状況

- ・デジタル化を個別で行い、連携が取れていない状態に陥る可能性がある。
- ・類似するデジタル化を個別で行うことによる経費の二重計上が発生するおそれがある。

3 静岡市インフラ分野のDX推進プラン

建設業界では、人手不足や災害対策、インフラの老朽化など従来から抱えている諸問題や、ウィズコロナ時代の到来や技術革新の進展をはじめとした社会経済情勢の変化に対応するため、データとデジタル技術を活用して、従来型の働き方から脱却し、非接触・リモート型による働き方への転換を図ることが求められている。

昨今、国土交通省がインフラ分野のDXの推進に関して積極的に取り組んでいる中、本市においても、実情に見合ったDXを模索するため、局内のみならず、局を横断してデジタル化に取り組む事業を選定し、インフラ分野のDXを実現するためのプラン策定を目的とする。

4 業務内容

(1) デジタル化の最新技術の整理

- ・国（総務省・国土交通省）のDX施策の整理
- ・RPAや情報共有ツール、BIM/CIMなどDXの取り組みとして活用されている主な技術について調査し、各技術の特徴や導入コスト、導入により期待される効果等を整理
- ・整理した最新技術について他自治体や国土交通省、民間企業での導入事例を調査

(2) 静岡市デジタル化推進プランの確認及び静岡市インフラ分野業務の課題整理

- ・静岡市デジタル化推進プランの確認
- ・静岡市インフラ分野に関する業務の課題や改善ニーズの調査

- ・解決すべき課題の優先度を整理

(3) DX推進事業の選定

- ・(1)と(2)の整理結果に基づき、DX推進事業として導入すべき技術と利用場面を選定
- ・選定に当たって設置する庁内プロジェクトチームの運営支援

(4) 推進プランの策定

- ・ロードマップ（短期（4次総前期）・中期（4次総後期））を作成し、各事業の推進方針を整理

※枠内は、令和3年度実施済み業務

5 入札形式の選定

- ・計画策定において、専門知識が求められるDX推進事業の選定は、推進プランの内容に大きく影響するため、それらの決定方法（方針）などに関する提案を事業者を求めることにより、事業効果が高い計画を策定することが可能となるため、プロポーザル方式により契約相手を決定することとする。